第1号議案　令和2年度　活動報告

1．1　各委員会の活動報告

総務委員会	(委員長)平野輝美　(副委員長)　(委員)渋谷貞雄

▸総会・役員会
定時総会および役員会(奇数月)を開催支援しました.
▸例会
月例会議(PPM)(および運営会議・SIG連絡会議等)を開催支援しました.
▸会員入会・退会管理
会員入会・退会管理を行いました. 関連して会員名簿と送付名簿を整備します.
▸顧客台帳の整備
昨年度に継続して, 様々な活動で得た顧客台帳を整備しました. 但し, 活用不十分.
▸文書を整備
東京技術士会書式一式を制定し, アップデートしました(継続する).
▸マイナンバー, コンプライアンス等の制定, および教育について各委員会を支援しました.
▸バーチャル産業交流展への出展
バーチャル産業交流展2020に出展しました. 支援を行いました.
▸その他
東京技術士会の円滑な活動に必要な諸事を支援いたします.

財務委員会	(委員長)進藤秀明　(副委員長)小峰史郎

1. 消費税
令和元年度、令和2年度とも売上額が1，000万円を切り、令和3年度は消費税納入業者に該当しなくなります。令和3年度は売上額が1，000万円を超えることが確実なので、令和4年度または令和5年度から消費税納税事業者に該当します。
2. 振込手数料の削減
令和元年度にSEEIで使用していたみずほ銀行の口座を活用することで、振込手数料の削減を図りました。令和2年度には約10，000円の手数料削減になりました。
3. 定例作業
・予算、決算案の作成
・会計監査
・納税関係書類の作成・納税
・出金依頼票の確認
会員の皆様にお願いです。交通費や事前作業の経費を明記してください。
・その他
納税相談、会計処理相談等

事業委員会	(委員長)小佐野市男　　(副委員長)　山戸佐知男

1. 勉強会の開催

・SIG 合同連絡会議の後半時間に勉強会を開催。会員の実務経験・特殊技能等に係るテーマについて実施。詳細は以下のとおり。

実施月	テーマ	講師
4	実施せず	
6	金属3D プリンターと従来の金属加工のメリット・デメリット	大野知彦
7	非鉄金属製錬と重金属の無害化処理について	進藤秀明
8	コンプライアンス研修会	大野知彦
9	3D プリンターの材料特性について	福崎昌宏、杉浦守彦、二川真士
10	技術史の話	橋本良昭
11	ディジタルアーカイブの勧め	中島正明
12	換気設備の基礎とコロナ対策例	柴田秀夫
1	コロナウイルス雑感―技術士の視点―	永田一良
2	ドローンの産業活用と最新事情	二川真士
3	3D プリンターの技術動向	福崎昌宏

◆ヴァーチャル産業交流展2020への出展

・開催日：令和3年1月20日（水）～2月19日（金） オンライン開催（ヴァーチャル展示会）

テーマ： ヴァーチャル空間で日本の未来がシンカする。PEIT は「機械・金属」部門へ出展

・出展社プレゼンテーションの実施（奥田広報委員長）。テーマ：PEIT の業務内容等

・PEIT の PR 動画を展示した。PEIT の PR 情報、会員が保持している情報等を編集して動画化した。

・実施結果：①出展者数：696社（団体）、 ②アクセス数：登録者数：6070人、ログイン数：44，820

アクセス数は過去の来場者数（2019年（リアル開催）延べ来場者数：27，779名）を上回った。

◆外部セミナーの開催：実施できなかった。

企画委員会	（委員長）伊藤俊彦　（副委員長）佐藤儀一　（委員）熊田成人

◆中期事業計画及び活動計画による活動の活性化を推進。

・東京技術士会の人財及び専門・経験・至近の活動内容を紹介のため会報3，4号及び会員紹介やパンフレットを顧客や外部連携先に郵送（2回）

・認定支援機関活用WGで検討の上、更新実施及びパンフレット作成（認定支援、中小企業海外支援）しPRに活用

・新型コロナ禍での東京技術士会運営のために ZOOM によるオンライン化を推進し、例会や総会、SIG 連絡会及び WG 等の円滑な運営を支援

・顧客マーケッティング強化のため“ものづくりドットコム”法人会員になりコンサルサービスメニューとして連携中

・東京技術士会の認知度向上のため日本技術士会の山梨県支部と千葉県支部で講演

・東京都バーチャル産業交流展に併せて東京技術士会及びサービス紹介資料を作成し、SIG 有志のパンフレットと合わせてバーチャル展示実施。

◆令和3年度中期事業計画及び活動計画を策定した。

広報委員会	（委員長） 奥田孝之　（副委員長） 片上裕紀　（委員）

◆会誌第三号、四号の発行

東京技術士会の会誌第三号・四号はそれぞれ中綴じ8ページ構成とし、内容を巻頭言、技術論文 2 編、技術解説 1 編とした。内容は次の通りである。部数はそれぞれ 1000 部とした。

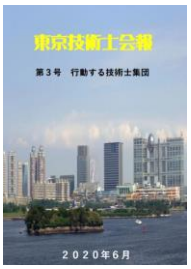
会誌第三号（2020年6月発刊）

巻頭言「COVID-19 の災難とその後の東京技術士会」（二宮会長）

論文「IoT による企業の経営力向上」（伊藤会員）

論文「AI時代の経営戦略について」（小佐野会員）

解説「品質マネジメントシステム構築の意義」（志澤会員）



東京技術士会報　第3号
（2020 年 6 月）

会誌第四号(2020年12月発刊)
巻頭言「COVID-19 の副産物ーテレワーク」(二宮会長)
論文「技術オリエンテッドな BCP でイノベーションを！」
(西宮会員)
論文 「3Dプリンタの技術動向」(福﨑会員)
解説「ドローン(UAV)によるリモートセンシング」(二川会員)

◆展示会における広報活動(プレゼンテーション)
2020 年 1 月 20 日から 2 月 19 日までのインターネット・ヴァーチャル産業交流展 2020 むけにプレゼンテーション(15分)を実施した。動画は産業交流展事務局が作成した。テーマは「新たな10年に向かう東京技術士会」であった。期間中、展示会で公開された。

◆インターネットを通じた広報の推進
勉強会の講演の講演者から Facebook 原稿の提供は2件であった。
公開日、タイトル、講演者、リーチ数は次の通りである。執筆は原則として各講演者としている。公開可能なテーマが少なかった。

No	投稿日	タイトル	執筆者	リーチ数	いいね
1	2020/4/3	金属組織分析と事例紹介	福﨑昌宏技術士	246	11
2	2020/4/11	製品事故は何故なくならないのか	川上 忠宏技術士	195	6

Facebook を通じた一般情報提供は次のとおりである。

No	投稿日	タイトル	執筆者	リーチ数	いいね
1	2020/4/22	全員ＷＥＢ参加の会議	広報委員	190	11
2	2020/6/12	第１２回定時総会	広報委員	197	13
3	2020/6/25	新橋事務所で定例会	広報委員	180	16
4	2020/6/25	「ものづくりドットコム」と業務提携	広報委員	186	21
5	2021/1/4	「ヴァーチャル産業交流展2020 」に出展	広報委員	173	3
6	2021/5/9	東京技術士会は会報第４号を発刊	広報委員	71	13

◆パンフレットの作成
＊会社案内(修正版)
東京技技術士会の会社案内の修正版を発刊した。

★広報動画の作成
独自企画の動画作成は実施予算がなく、実現できなかった。

HP委員会	(委員長)木村 稔 (委 員)面来周一

＊全体変更
・通信暗号化(SSL 化＝保護された通信)および www 無しへの統一実施、アクセスカウンタ削除
・各ページのMENUを「SIG＆サービス」から「得意分野グループ」に変更
1. ホーム更新
・BCP策定支援を追加
・ヴァーチャル産業交流展2020出展などを掲載、その後などと共に過去の実績に掲載を移行
2. 会社ご案内
・個人情報保護に(参考)個人情報保護法改正 を追加
・運営の東京技術士会業務実施組織図の更新など
3. 活躍技術士ご紹介

・伊藤様、山戸様、山根様、大野様、二川様の新規登録&内容更新、富田様退会のため削除
4. 得意分野グループ
・SIG&サービスメニューを得意分野グループに変更
・連絡担当にはSIGメールアドレス(メール時:#→@)を追加
5. 各種支援メニュー
・更新は特に無し
6. 公開している資料
・東京技術士会報　第三号、第四号を追加
・東京技術士会会員紹介を掲載
・令和１年度事業報告書を追加
・平成27年度～令和１年度貸借対照表(公開)を追加
・第10回～第12回定時総会議事録を追加
7. お問合せ
・更新は特に無し
8. 入会ご案内
・更新は特に無し
9. 会員のページ
・議事録等追加:第12回定時総会議事録、R2年度中期事業計画書、R2年度事業計画書・予算計画書・事業報告書・決算報告書、第70回～第74回理事会議事録、第127 回～第138 回運営委員会議事録、第120 回～第129回SIG合同連絡会議議事録
・会員名簿等更新:会員名簿、・役員会、委員会名簿、【SIG】登録メンバー一覧、・メーリングリスト一覧
・勉強会資料集追加:大野、進藤、福崎、杉浦、二川、橋本、中島、柴田、永田の各会員
・年間主要日程更新
・SIG資料リストに SSC、TEC、KIC、LSC、CSC、SPTG、IAMS、ICTC、ASC、EIRC、HSC、TIC、ARC、SEMI、RVC、ISOC、SEEI、IOTG の紹介を追加
7. メーリングリスト／メールアドレス更新:会員、役員、委員会、SIG
8. 新入会員への案内通知
9. 毎月のHP更新内容をメール通知

1．2 各SIGの活動報告

令和2年度各SIG活動計画・予算及び活動実績・売上高/実績人件費・経費

令和 2 年度各SIG活動実績　　2021.5.15

SIG 名 (略称: リーダー名)		活動内容の要約
中小企業支援センター (SSC: 〇武田)	計画	①公的機関 東京都中小企業振興公社、工団連専門家、東京都中小企業団体中央会(HSC)、商工会議所、中小機構等への専門家登録とニーズ調査 ②産業交流展等での PR、ニーズ収集 ③中小企業支援の関連資料・情報・参画等
	実績	① 産業交流展ヴァーチャル展示 ② 支援機関交流会参加
	考察	コロナでヴァーチャルが多いので今後 WEB 活用を検討したい。支援機関交流会が今後継続あれば対応したい。
公的事業協力センター (HSC: 〇奥田)	計画	①案件情報の収集(ただし他SIGの活動範囲を除く)と客先営業活動を行う。 ②案件受注時は受託先との連絡、会員との連絡調整を行う。 ③書面審査員募集案内文作成配布、受付名簿、推薦名簿等の作成。人数制限のある時は評点算出により調整する。 ④業務推進に伴うトラブル対応 ⑤完了後の管理費入金督促、集計 ⑥上記に関連した業務として「東京都明日にチャンンジ事業」書面審査を受注する計画。
	実績	①案件情報の収集(他SIの活動範囲を除く)と客先営業活動を行った。 ②案件受注時は受託先との連絡、会員との連絡調整をった。 ③「東京都明日にチャンンジ事業」案内文作成配布、受付名簿、推薦名簿等の作成。人数制限のある時は評点算出により調整した。 ④業務推進に伴うトラブル対応をした。 ⑤完了後の管理費入金督促、集計をした。 ⑥上記に関連した業務として「東京都明日にチャンンジ事業」書面審査を受注した。 ⑦東京技術士会の会報3号と4号を送付した。
	考察	ものづくり事業は東京都中央会が受注していないため、受注できなかった。
知的資産経営支援センター(IAMS: 〇深澤)	計画	① 事業性評価や経営デザインシートの作成等における知的資産経営のニーズを調査する。 ② 西部信用金庫等の金融機関との連携の可能性を探る。
	実績	経営デザインシート作成のニーズがあることは把握できた。 コロナ禍の中、金融機関との接触が不十分であった。
	考察	無料支援との差別化を図り、有料コンサルの仕組み化について検討を行う必要がある。
物流効率化支援センター (LSC: 〇安藤)	計画	サプライチェーンの最適化(SCM)を目的とする国(経産省・国交省 etc.)、地方自治体や企業が募集する案件に応募し次の業務を請け負う ① 現状業務分析 ② 課題の抽出整理 ③ 改善策と戦略目標の策定 ④ 新業務モデルのデザイン ⑤ システム構築計画策定 但し、営業力不足で案件発掘、提案、受注に結びつけら得るかが課題。
	実	2020 年度の受注実績は無し

	績	
	考察	国(経産省・国交省 etc.)への対応は規模がでかくてPEITの受注規模を超えていることから受注確率が低い。今年度は地方自治体や中小企業向けにターゲットを絞って受注確率を向上したい。また、他のSIG(IOT グループ)と連携して案件発掘を強化したい。
官公需情報センター(KIC:〇二宮)	計画	① 都環境局窓口対応業務は(株)中央開発社が失注したので受注企業から受託を狙うが現時点未定。 ② 水道局 ISO 関連は引き続き受託を狙う ③ 自治体工事監査は多摩地区自治体からの引き合いに加えて 23 区からも増えてきているので引き続き対応 ④ JICA 案件受託を目指す ⑤ 品川区都のコラボレーションに期待 ⑥ 東京都公募案件への積極的参画を目指す ⑦ 情報関連業務への取り組みを関連 SIG と協議して参画を狙う
	実績	① 都環境局窓口対応業務は(株)中央開発社が失注したので未達。 ② 水道局 ISO 関連は多摩地区、三郷浄水場から受託した。 ③ 自治体工事監査は多摩地区自治体からの引き合いに加えて 23 区からも増えてきて 5 件受託した。 ④ JICA 案件受託は未達。 ⑤ 品川区とのコラボレーションは 1 件受託。 ⑥ 東京都公募案件への積極的参画を目指した。 ⑦ 情報関連業務への取り組みを関連 SIG と協議して参画を狙ったが未達
	考察	①～③、⑤は実績があがったが、その他については未達であった。来期への課題とする。
ICT 活用支援センター(ICTC:〇木村稔)	計画	①東京都各局セキュリティ監査業務の受託 ②マイナンバー対応支援メニューによる受注活動 ③中小企業規模別 ICT 活用支援メニューによる受注活動および IoT グループとの連携
	実績	品川区よりAIについてのオンライン講習受注。
	考察	①②は実績なし、③は IoT グループとの連携を継続していく。
海外進出支援センター(OSC:〇二宮)	計画	① JICA/国交省国際セミナー ② 日本ベース社顧問継続 ③ JICA 案件の調達 (新型コロナウイルスの影響を懸念)
	実績	① JICA/国交省国際セミナー ② 日本ベース社顧問継続 ③ JICA 案件の調達 (新型コロナウイルスの影響を懸念)
	考察	① JICA/国交省国際セミナー ② 日本ベース社顧問継続 ③ JICA 案件の調達 (新型コロナウイルスの影響を懸念)
こども理科ク	計	① プログラミング教室準備

ラブ（CSC：永田）	画	2020 年から初等教育で必須となる このための教材を準備する ② プログラミング教室開催 試行的に有料での教室を開催する・
	実績	① 日本技術士会・わくわく理科教育の会と 連携して RasPi 活用の準備を Zoom Meeting で毎月 1 回開催した ②Jr.Dr プログラムに協力し、講座を分担 実施した
	考察	①グループを拡大し、外部に向かっての活動が不足している
技術調査センター（TIC：○片上）	計画	①東京都の各自治体の工事監査の受注活動 ②東京都内の区役所関連の監査の入札価格決定に必要な情報入手を強化。
	実績	①市役所工事監査 ②区役所工事監査
	考察	区役所工事監査は受注増大しましたが、市役所工事監査は価格競争の激化から、失注件数が増えました。
技術評価センター（TEC：○平野）	計画	①東京都産業労働局創業支援課調査業務を受託すべく活動する.（受託のための準備活動を行う） ②JST等の調査業務等を受託すべく活動する. ③ その他
	実績	受注実績なし.
	考察	なんらかの具体的な対策が必須と判断する.
表面処理技術研究会（SPTG：○平野）	計画	① セミナー等を計画する（日刊工業新聞と連携を進める）
	実績	受注実績なし.
	考察	外部の同種団体に対する積極的なアプローチを行う.
農業支援センター（ASC：○平野）	計画	①パソナの状況によるため，現体制を維持する（特に変更等を行わない）
	実績	受注実績なし.
	考察	活動計画なし（パソナとの関連を維持するのみ）
環境問題研究クラブ（EIRC:○佐藤）	計画	① 都環境局窓口対応業については令和2年度も中央開発(株)が失注したため、受注したユーロフィン日本環境(株)に受託を働きかけるとともに他の自治体での環境関係の相談窓口業務について調査する。 ② 担当者：佐藤、佐伯、江藤、中村、山下
	実績	受注したユーロフィン日本環境(株)に受託を働きかけたが断られた。他の自治体での環境関係の相談窓口業務について調査したが皆無であった。
	考察	来年度の中央開発(株)の受注に期待し、中央開発(株)より受託できるよう営業活動を実施する。
アーカイブス（ARC：	計画	①東京技術士会会員の要望により複数案件の出版を進める. ②2件の出版を行う（東京技術士会ライブラリシリーズ）.

○平野)	実績	受注実績なし.
	考察	会員各位の経験とノウハウ等を掘り起こす必要性を認めるが, 何よりも会員各位の意思による. 積極的な情報提供を希望する.
セミナー企画センター(SEMI:小佐野)	計画	① 外部セミナーを開催し、事業者の目標達成・事業発展・事業継続等を支援し、地域経済の発展に寄与する。併せて PEIT 知名度向上を指向する。 ② メンバー:二宮、熊田、志澤、渡辺(芳)、小佐野
	実績	外部セミナーの実施はできなかった。
	考察	受講者を如何に集めるかが課題である。 今後は出前型研修の実施も検討する。
ISO 構築・改善支援センター(ISOC:○志澤)	計画	マネジメントシステムの構築、改善について支援を希望する組織の支援を行う。 【メンバー】:志澤、西宮、平泉、滝沢、熊田、竹田、片桐、二川、新井田、山戸
	実績	東京都水道局多摩水道改革推進本部、三郷浄水場の支援を実施。また、F 社の支援準備が始まっている。 次年度の三郷浄水場支援業務を落札。
	考察	東京都水道局3部署のうち2部署を落札できたのは良かった。
報告書照査センター(RVC:杉山正)	計画	JICA 受託業務を作成した SIG の報告書の照査を行い、瑕疵の発生を防ぐ メンバー:杉山、二宮、永嶋、他都度専門家が参加する。
	実績	令和2年度実績無し
	考察	照査依頼業務がなかったため実績無しとなっている。
エネルギー・効率改善支援グループ(SEEI:○高宮)	計画	未定(省エネPF事業の予算措置などが未定)
	実績	令和2年度実績無し
	考察	省エネPF事業は当会からは応募できなかったので実績なしとなっている。
IoT グループ(IOTG:○伊藤)	計画	(1)IoT コンサルメニュー・アプローチ手法・コンサルモデル整理と推進 (2)支援先企業のニーズを把握し価格やパートナー連携含めて最適な提案実施 (3)顧客及び SIer 等へのスキルアップ後援企画 (4)連携先と実績蓄積でオーナーコンサル拡大
	実績	(1)日立ハイテク、CT 社のマーケッティングコンサルを継続受注し IoTG 有志で実施。 (2)IoTG 定例会での情報交換や顧客課題への対応支援を継続 (3)日本技術士会の山梨県支部、千葉県支部を始めとした講演会や勉強会で PEIT の紹介、IoTG の活動を紹介。会報3・4号に掲載。会報及び同封資料の郵送作業やヴァーチャル産業展での PR コンテンツ製作等を IoTG の会員の協力で実施。
	考察	IoTGメンバーの積極的な参加を得て IoT グループの目指すビジネスモデルの共有や「ものづくり. com連携」など少しずつ進展し成果も出来た。今後はPEITの会員やパートナーの協力を得られるようにすると共に継続顧客確保へ向けてPEITの認知度向上へ尽力していきたい。

合計	計画	令和2年度各SIGの合計(計画)
	実績	令和2年度各SIGの合計(実績)

1．3 その他

実施した主な事業及び新規事業案件を示す.

▸東京都環境局 委託業務

「東京都環境局の都庁における対応業務」について，令和2年度業務を実施した.

令和3年度に向けて，新規案件の受注活動，受託の働きかけ，他の自治体への調査等を進めた.

▸明日にチェレンジ助成金評価業務

多数の助成金採択件数として実績を残した「明日にチャレンジ事業」について，その技術評価業務を実施しました．本件は評価件数として極めて多くの件数であり，東京技術士会として組織対応において効果的であったものと考える．本件は継続的に実施している.

▸技術監査業務

主に東京都各市等の業務(技術)監査を受託し，監査業務を実施した。次年度も東京都内の各自治体の工事監査受注活動を継続する.

▸IoT 活用マーケッティング・経営力向上支援コンサル業務

中小製造業の生産効率や経営力向上への IoT 活用機運を捉えてパートナーと連携してマーケッティング業務受託やフライヤー制作・配布、講演等の各種活動を推進した。DX 化やデジタル化や IoT 活用は製造業のみならず多方面での導入が今後進展し、専門分野で活躍する技術士や革新経営支援機関活動にとっても武器となる。今後も継続して推進する。